


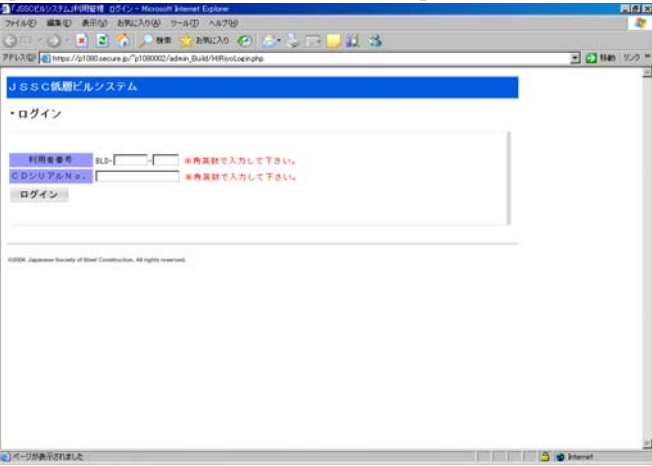
JSSC低層ビルシステム


操 作 手 順 書

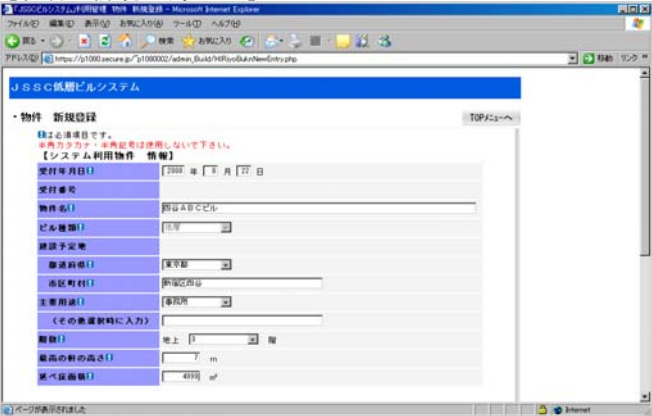

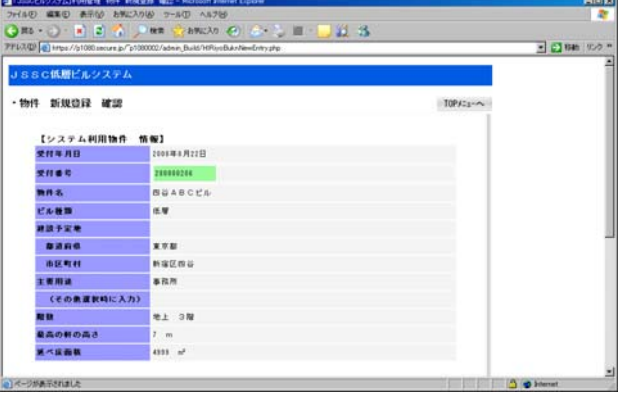

2008年 9月
社団法人 日本鋼構造協会

目 次


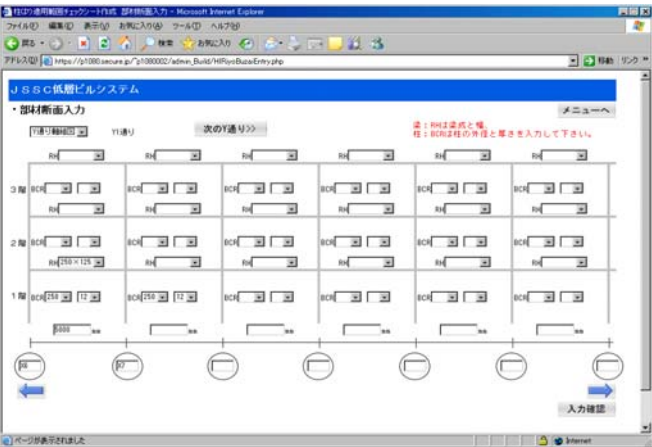
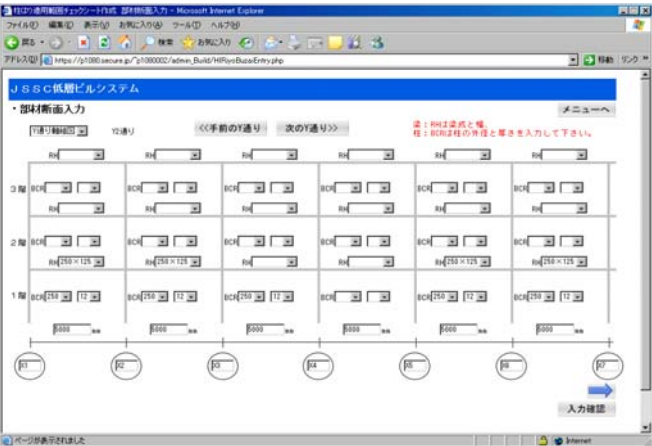

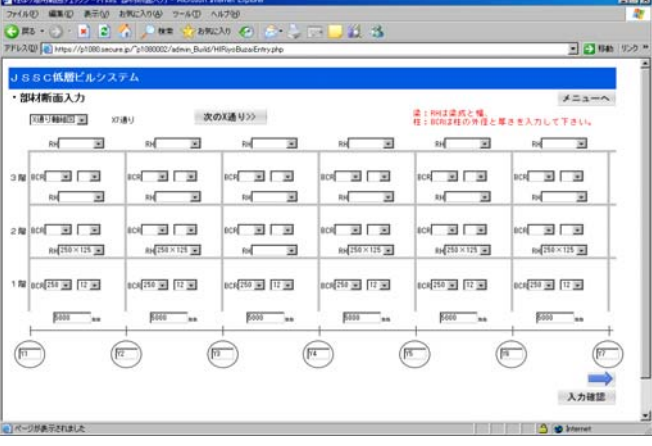
1.	操作手順	
1. 1.	JSSC低層ビルシステム・アクセス方法	... 1ページ
1. 2.	メニュー	... 2ページ
1. 3.	物件 新規登録	... 3ページ
1. 4.	部材断面入力	... 4ページ
1. 5.	柱はり適用範囲チェックシート作成	... 7ページ
2.	注意事項	... 13ページ

<p>操作手順書</p>	<p>システム名</p>	<p>JSSC低層ビルシステム</p>
	<p>機能名</p>	<p>JSSC低層ビルシステム・アクセス方法</p>
<p>画面操作説明</p>		
<p>[<JSSC低層ビルシステムのご案内>画面]</p> 	<p>「日本鋼構造協会 会員向けホームページ」より、「JSSC低層ビルシステム」のバナーを押すと「JSSC低層ビルシステムのご案内」画面に遷移します。</p> <p>「JSSC低層ビルシステム」では、以下の作業を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「JSSC低層ビルシステム」を利用する物件の登録 2. 「柱はり適用範囲チェックシート」の作成 <p>「ログイン」ボタンを押すと、「JSSC低層ビルシステム」のログイン画面が表示されます。</p>	
		
<p>[JSSC低層ビルシステム ログイン画面]</p> 	<p>利用者番号 : 「JSSC低層ビルシステム」利用者登録完了メールで、ご連絡済の利用者番号を入力して下さい。</p> <p>CDシリアルNo.: 「JSSC低層ビルシステム」CD-ROMのバーコードの下の“L”から始まる7文字を入力して下さい。</p> <p>利用者番号、CDシリアルNo.を入力後、「ログイン」ボタンを押して下さい。</p>	
		

操作手順書	システム名	JSSC低層ビルシステム
	機能名	メニュー
画面操作説明		
<p>[TOPメニュー画面]</p> 	<p>[物件登録]機能 「JSSC低層ビルシステム」を利用する、物件の登録を行います。</p> <p>「物件登録」ボタンを押すと、「物件 新規登録」画面へ遷移します。</p> <p>[柱はり適用範囲チェックシート作成]機能</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 「柱はり適用範囲チェックシート」を作成する為の、部材断面データ入力を行います。 ② 入力した部材断面データを利用して「柱はり適用範囲チェックシート」を作成します。 <p>「柱はり適用範囲チェックシート作成」ボタンを押すと、「柱はり適用範囲チェックシート作成メニュー」画面へ遷移します。</p>	

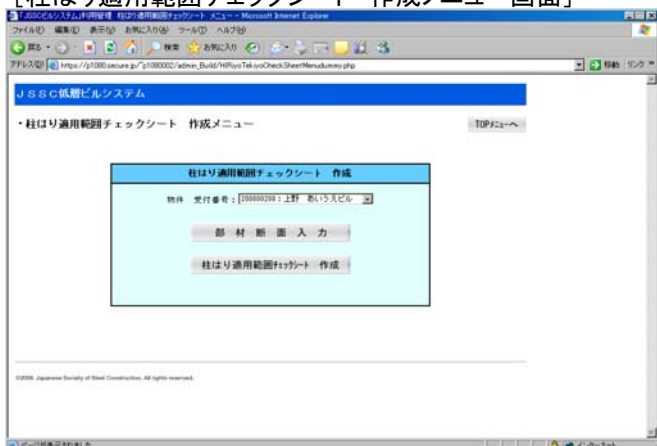
操作手順書	システム名	JSSC低層ビルシステム
	機能名	物件 新規登録
画面操作説明		
<p>[物件 新規登録画面]</p> 	<p>「JSSC低層ビルシステム」を利用する、物件の入力を行ってください。</p>	
<p>[物件 新規登録画面(続き)]</p> 	<p>「利用者情報」には、ログインした利用者の情報が表示されますので、表示内容に誤りがないか確認して下さい。</p> <p>入力後は、「入力確認」ボタンを押して下さい。</p> <p>「TOPメニューへ」ボタン、「戻る」ボタンは、入力作業を中止して、TOPメニュー画面へ戻ります。入力した内容は、保存されません。</p>	
<p>入力確認 を押下</p>		
<p>[物件 新規登録 確認画面]</p> 	<p>入力内容の確認を行ってください。</p> <p>入力確認作業の終了後、「入力完了」ボタンを押してください。入力内容が、データベースに登録され、「JSSC低層ビルシステム」物件登録完了メールが送信されます。</p>	
<p>[物件 新規登録 確認画面(続き)]</p> 	<p>入力完了後は、「TOPメニュー画面」に戻ります。</p>	
<p>入力完了 を押下</p>		

操作手順書	システム名	JSSC低層ビルシステム
	機能名	部材断面入力
画面操作説明		
<p>[柱はり適用範囲チェックシート 作成メニュー画面]</p>	<p>「柱はり適用範囲チェックシート 作成メニュー」画面より部材断面入力を行う物件を選択し、「部材断面入力」ボタンを押します。</p>	
<p style="text-align: center;">部 材 断 面 入 力 を 押 下</p>		
<p>[部材断面入力 コピー元物件選択画面]</p>	<p>新規に部材断面入力を行う場合は、既に部材断面データを登録済の物件から、複写することが出来ます。</p> <p>複写が必要な場合は、「既存物件のコピー」を指定し、複写元の物件を「物件プルダウン」から選択して「実行」ボタンを押して下さい。</p> <p>複写が不要の場合は、「新規」を指定して、「実行」ボタンを押して下さい。</p>	
<p>[Y通り軸組図 入力画面]</p>	<p>「Y通り軸組図」の先頭の通りから、X通りについて入力を行います。</p> <p>既に、部材断面データが入力済の物件の場合は、前回の入力内容が表示されます。</p> <p>「メニューへ」ボタンは、入力作業を中止して、メニュー画面へ戻ります。入力した内容は、保存されません。</p>	

操作手順書	システム名	JSSC低層ビルシステム
	機能名	部材断面入力
画面操作説明		
<div data-bbox="124 241 328 286" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">左右スクロール</div> <div data-bbox="335 300 558 340" style="text-align: center;">  を押下 </div> 	<p>「左右の矢印ボタン」で画面を左右にスクロールさせながらX通りを入力します。</p>	
<div data-bbox="124 806 363 851" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">通りのスクロール</div> <div data-bbox="197 860 699 900" style="text-align: center;"> <<手前のY通り 次のY通り>> を押下 </div> 	<p>1つのY通りについて、「Y通り軸組み図」の入力終了後、「次のY通り>>」を押し、次のY通りの入力を行います。</p> <p>「<<手前のY通り」を押す事により、先に入力したY通りに戻ります。</p>	
<div data-bbox="124 1388 328 1433" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">軸組図の切替</div> <div data-bbox="309 1442 683 1523" style="text-align: center;">  プルダウンで選択 </div> <div data-bbox="124 1536 418 1572" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">[X通り軸組図 入力画面]</div> 	<p>全ての「Y通り軸組み図」の入力後、「X通り軸組図」に切替えを行います。</p> <p>「X通り軸組図」では、X通りの最後通りから順に、Y通りの入力を行います。</p> <p>入力方法は、「Y通り軸組図」と同様です。</p>	

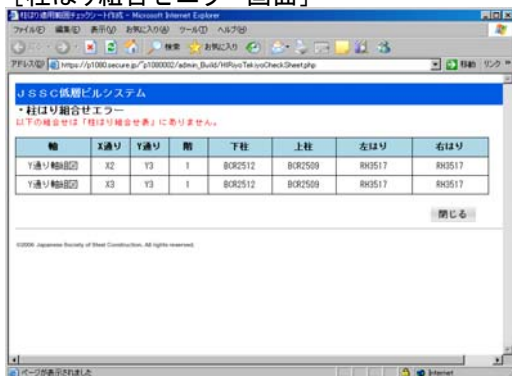
操作手順書	システム名	JSSC低層ビルシステム
	機能名	部材断面入力
画面操作説明		
<p data-bbox="124 248 328 286">入力終了</p> <p data-bbox="336 309 592 338">入力確認 を押下</p> <p data-bbox="129 365 416 394">[Y通り軸組図 確認画面]</p> 	<p data-bbox="834 423 1469 539">入力後は、入力確認ボタンを押します。「Y通り軸組図」の先頭の通りから、画面を遷移させながら入力内容の確認を行います。画面の遷移方法は、入力画面と同じです。</p> <p data-bbox="834 600 1433 658">入力内容に誤りがある場合は、「戻る」ボタンを押して、入力画面に戻ります。</p>	
<p data-bbox="336 898 592 927">戻る を押下</p> 	<p data-bbox="834 981 1469 1010">確認画面で表示していた通りの入力画面を再表示します。</p> <p data-bbox="834 1039 1437 1097">入力内容の訂正後は、再度「入力確認」ボタンを押して下さい。</p>	
<p data-bbox="336 1424 592 1453">入力確認 を押下</p> 	<p data-bbox="834 1509 1406 1626">確認画面は、「Y通り軸組図」の先頭の通りから表示します。入力確認作業の終了後、「入力完了」ボタンを押して下さい。入力内容が、データベースに登録されます。</p>	
<p data-bbox="336 1973 592 2002">入力完了 を押下</p>	<p data-bbox="834 1951 1422 2009">入力完了後は、「柱はり適用範囲チェックシート 作成メニュー」画面に戻ります</p>	

[柱はり適用範囲チェックシート 作成メニュー画面]



「柱はり適用範囲チェックシート 作成メニュー」画面より柱はり適用範囲チェックシートの作成を行う物件を選択し「柱はり適用範囲チェックシート作成」ボタンを押します。

[柱はり組合せエラー画面]



入力した部材断面データのうち、「柱はり組合せ表」に無い組合せは、「柱はり組合せエラー」画面に表示されます。

「柱はり組合せエラー」画面は別ウィンドウで表示されますので、「柱はり組合せエラー」画面でエラー箇所の確認を行いながら、「部材断面入力」画面で、データの修正が行えます。

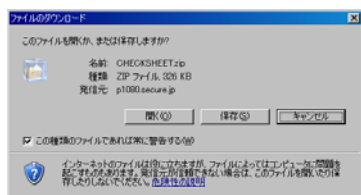
[柱はり適用範囲チェックシート ダウンロード画面]



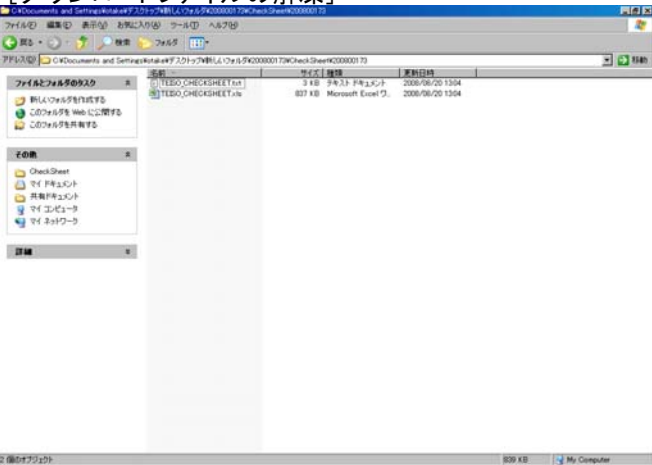
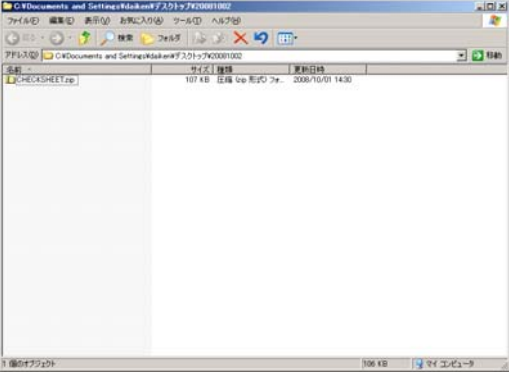
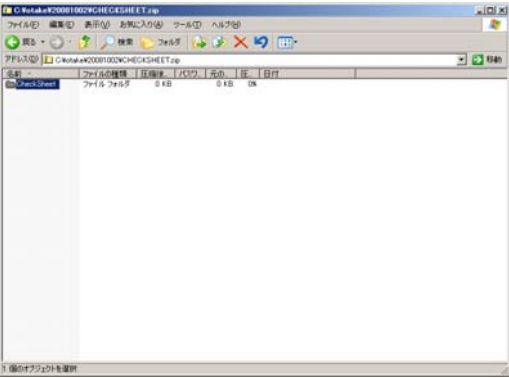
入力した部材断面データの全ての柱と梁の組合せが適切な場合は、「柱はり適用範囲チェックシートダウンロード指示画面」が表示されます。ダウンロードボタンを押して、チェックシートをダウンロードを行ってください。

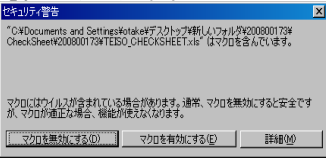
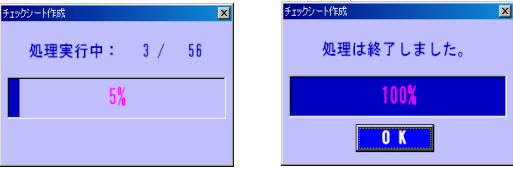
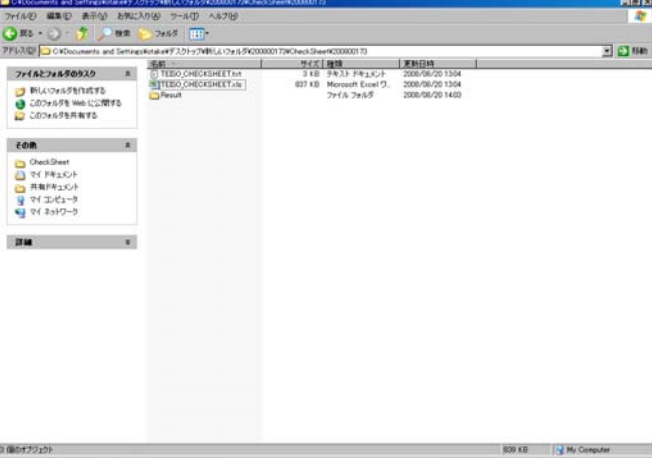
「閉じる」ボタンを押すと、「柱はり適用範囲チェックシートダウンロード指示画面」を表示しているウィンドウを閉じます。

ダウンロード を押下

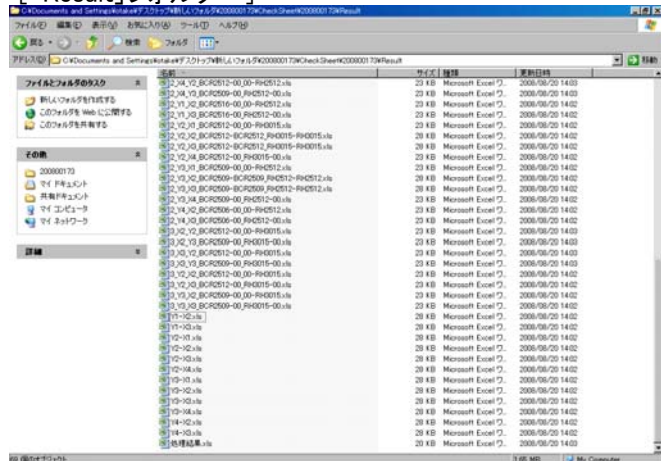


「ファイルのダウンロード」ダイアログが表示されますので保存ボタンを押して、ダウンロードされるファイルを保存して下さい。

操作手順書	システム名	JSSC低層ビルシステム					
	機能名	柱はり適用範囲チェックシート作成					
画面操作説明							
<p>[ダウンロードファイルの解凍]</p> 	<p>ダウンロードファイルは、ZIP形式で圧縮してあります。解凍ツールを使用して、解凍を行ってください。</p> <p>解凍後のファイル</p> <table border="1" data-bbox="831 394 1469 512"> <thead> <tr> <th>ファイル名</th> <th>ファイル説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TEISO_CHECKSHEET.txt</td> <td>部材断面データ</td> </tr> <tr> <td>TEISO_CHECKSHEET.xls</td> <td>「柱はり適用範囲チェックシート作成」プログラム</td> </tr> </tbody> </table>	ファイル名	ファイル説明	TEISO_CHECKSHEET.txt	部材断面データ	TEISO_CHECKSHEET.xls	「柱はり適用範囲チェックシート作成」プログラム
ファイル名	ファイル説明						
TEISO_CHECKSHEET.txt	部材断面データ						
TEISO_CHECKSHEET.xls	「柱はり適用範囲チェックシート作成」プログラム						
<p>[解凍ツールを使用しない場合]</p> 	<p>解凍ツールを使用しない場合は、Windowsの解凍機能を利用します。ダウンロードした「CHECKSHEET.zip」をダブルクリックして下さい。</p>						
<p>「CHECKSHEET.zip」をダブルクリック</p>							
	<p>「CHECKSHEET」フォルダーが表示されますので、デスクトップ等にコピーして下さい。 「CHECKSHEET」フォルダーが解凍されます。</p> <p>※)画面の例は、WindowsXPですが、WindowsVistaでも同様です。</p>						

操作手順書	システム名	JSSC低層ビルシステム
	機能名	柱はり適用範囲チェックシート作成
画面操作説明		
<p>[柱はり適用範囲チェックシート作成]</p>  <p>[チェックシート作成のインジケータ]</p>  <p>[チェックシート作成後]</p> 	<p>TEISO_CHECKSHEET.xlsをダブルクリックすると、EXCELマクロが起動しますので、「マクロを有効にする」を押してください。</p> <p>チェックシート作成中は、インジケータが表示されます作成が終了したら、OKボタンを押してください。</p> <p>チェックシートは、「Result」フォルダーに作成されます。</p>	

「[Result]フォルダー」



【ファイルの説明】

●柱梁チェックシート

ファイル名は、
「階_通り_軸_下柱-上柱_左梁-右梁.xls」です
柱や、梁がない箇所は、「00」となっています

例1) 「2_Y2_X2_BCR2512-BCR2512_RH3015-RH3015.xls」
2階、Y2通り、X2軸
下柱=BCR2512、上柱=BCR2512
左梁=RH3015、右梁=RH3015
「+」型のチェックシートです

例2) 「1_X1_Y1_BCR3012-BCR3009_00-RH3517.xls」
1階、X1通り、Y1軸
下柱=BCR3012、上柱=BCR3009
左梁=なし、右梁=RH3517
「ト」型のチェックシートです

●柱脚チェックシート

ファイル名は、
「通り-軸.xls」です

例) Y1-X2.xls
Y1通り、X2軸
についての柱脚チェックシートになります。

●処理結果

ファイル名は、「処理結果.xls」です。
チェックシートが正しく作成できたか確認出来ます。

「柱はり適用範囲チェックシート」の利用方法

「柱はり適用範囲チェックシート」ファイル

The screenshot shows an Excel spreadsheet with the following structure:

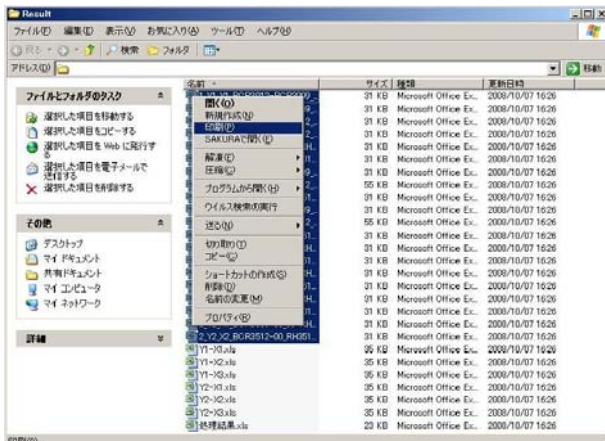
- Row 1: Title '柱はり適用範囲チェックシート (+ 桁)'
- Row 2: Project ID 'BCR0012' and Date '20080224'
- Row 3: Check location 'BCR017 --> BCR017'
- Row 4: Check location 'BCR018'
- Row 5: Check location 'BCR019 --> (X)柱-->(X)柱'
- Row 9: Input fields for '外荷+物重 (kN)', '短期軸力 (kN)', '長期軸力 (kN)', and '軸力比'.
- Row 11: Input field for '上層柱' with a value of 11.22.
- Row 12: Input field for '下層柱' with a value of 11.10.
- Row 14: Section header '大梁 (左)' and '大梁 (右)'.
- Row 15: Calculation for M_E/M_Y for the left beam.
- Row 16: Calculation for M_E/M_Y for the right beam.
- Row 17: Comparison of M_E/M_Y values.
- Row 18: Decision logic: $() > () / 1.11$?
- Row 19: Decision logic: $() > () / 1.11$?
- Row 20: Decision logic: $() > () / 1.11$?
- Row 21-27: Data table for beam selection with columns for M_E/M_Y , M_E , M_Y , and a selection checkbox.

色の付いているセルのみ入力可能となっています。
ページ色のセルは「□」または「■」をドロップダウンから選択してください。

左右大梁の水平 M_E を入力後、自動計算される M_E/M_Y に対応する値の「採用」を「■」に変更してください。

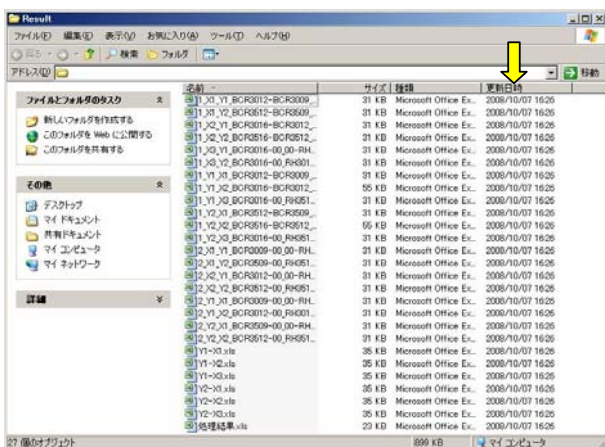
The screenshot shows the same Excel spreadsheet as above, but with an error message at the top: '実行中にエラーが発生しました。' (An error occurred during execution). An arrow points from the text on the right to this message.

左右大梁の採用とする値が選択された際、エラーが存在する場合は、Excelファイル上部にメッセージが表示されます。
エラーが存在しない場合は、「判定」が「■」に自動更新されます。



[複数ファイルの一括印刷方法]

印刷するファイルを全て選択後、マウスで右クリックから「印刷」を選択してください。



[ファイル表示順の変更方法]

エクスプローラ上の「更新日時」タブをクリックします。ファイルの表示順が更新日時順に変更されます。柱はり適用範囲チェックシートの入力がどこまで完了したかわからなくなった際にご使用ください。

操作手順書	システム名	JSSC低層ビルシステム
	機能名	
<p>●注意事項</p> <p>1. 動作環境</p> <p>1. 1. ブラウザー Internet Explorer Ver : 6 , 7で動作を確認しています。</p> <p>1. 2. JavaScript 本システムでは、値の入力チェック等で、JavaScriptを利用しています。 ブラウザの設定で、JavaScriptを有効にしてください。 (通常は、有効になっています。)</p> <p>1. 3. 「柱はり適用範囲チェックシート」の作成には、EXCELマクロを利用しています。 EXCEL2000,2002,2003,2007で動作を確認しています。</p> <p>2. セキュリティの警告について JSSC低層ビルシステムのページでは、暗号化により通信を行います。 このため、このページを表示する前にセキュリティ証明書(サイト証明書)を受け付けるかどうか確認する ウィンドウが表示される場合があります。 セキュリティ上問題はありませので処理を続行してください。</p>		